

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 概ね学校は、保護者や地域の実態、ニーズを踏まえて学校教育目標や教育方針を設定していると評価されている。
	生徒			課題解決への方策 今後とも保護者や地域と連携し、児童の実態を踏まえた教育方針等について家庭・地域に説明していく。
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 学校の教育目標や教育方針については、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定していると、教職員、保護者、地域の多くが肯定的に評価している。引き続き、保護者や地域の声を聴き、教育目標や教育方針を設定してほしい。
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	70% 30% 0% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 昨年度に比べ、「そう思う」と答えた保護者が増加し、学校の教育方針や教育目標が広く周知された。一方、1～3年生の児童の数値が低い傾向にある。
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。	88% 7% 3% 2% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 今後とも地域の回覧板やホームページを活用したり、保護者会や各行事の機会をとらえて、家庭・地域に説明していく。また低学年の児童に対しては、朝会や各行事のたびに繰り返し説明することで周知していく。
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	60% 34% 2% 3% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 学校の教育目標や教育方針については、教職員、児童ともに昨年同様に肯定的に回答している割合が高い。学校教育目標は毎月の学校だよりで周知しており、内容についてもよく読まれている。「分からない」と回答する保護者のためにさらなる周知方法を考えるとよい。
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	100% 0% □① □② □③ □④ □⑤	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	40% 60% 0% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題
	生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	86% 13% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策
	保護者			学校関係者評価委員会による評価
	地域			

わかりやすく工夫した授業を行っているかに対して肯定的に答えた児童は、昨年度と同様に高い数値となった。学び合い学習やチームティーチングを継続して行ってきた成果だといえる。

本年度、学校課題研究として取り組んだ「学び合い学習」を教科を問わず取り入れ、「自分の意見を発表したり、書いたりすること」を積み重ねていく。また継続して、学校行事・学年行事などで、児童が発表する機会を意図的に設ける。

生徒の99パーセントが先生方が分かりやすく工夫した授業をしていると感じており、非常に評価できる。引き続き、子どもたちに工夫した分かりやすい授業を行っていただきたい。

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 昨年度と同様、教職員の評価と児童の評価に差が見られる。教職員が求める望ましい態度がなかなか児童に伝わっていない現状がある。
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 朝会や授業を通して、教職員が伝えたかったことは何だったか、振り返る時間を確保していく。発達段階に応じてどのくらい理解できたかその都度確認し、評価することで、教職員と児童の話を聞く意識、落ちついた態度で学習する意識を高めていく。
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 授業の様子を参観すると、どの児童も先生の話をよく聞いて、落ち着いて取り組んでいる。学習のきまりをしっかりと指導している成果の表れだと思う。話した内容がしっかり理解できているか、振り返りも丁寧に行い、引き続き授業を受ける際の意識の向上を図ってほしい。
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①そう思う</td><td>80%</td></tr><tr><td>②だいたいそう思う</td><td>20%</td></tr><tr><td>③あまりそう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>④そう思わない</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤わからない・無答</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①そう思う	80%	②だいたいそう思う	20%	③あまりそう思わない	0%	④そう思わない	0%	⑤わからない・無答	0%	評価結果についての分析・課題	教職員、児童、保護者共に、昨年同様高い評価を得ることができた。特に児童に関しては、肯定的回答がさらに増加し、問題が生じた時に全教職員で対応してきた成果が確実に表れているといえる。一方「⑤わからない・無答」と回答した児童、保護者もあり、問題を早期に発見し情報共有することが課題である。
	評価項目	割合															
	①そう思う	80%															
	②だいたいそう思う	20%															
③あまりそう思わない	0%																
④そう思わない	0%																
⑤わからない・無答	0%																
生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①そう思う</td><td>87%</td></tr><tr><td>②だいたいそう思う</td><td>10%</td></tr><tr><td>③あまりそう思わない</td><td>2%</td></tr><tr><td>④そう思わない</td><td>1%</td></tr><tr><td>⑤わからない・無答</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①そう思う	87%	②だいたいそう思う	10%	③あまりそう思わない	2%	④そう思わない	1%	⑤わからない・無答	0%	課題解決への方策	些細な問題行動も見逃さずに、組織で共有して速やかに対応する。いじめは、大人の目の届かないところで行われることが多いため、抱え込まずにすぐに相談できることを児童に広く周知する。また、家庭との連携を密に行い、情報を共有しながら児童の問題行動に対処していく。	
評価項目	割合																
①そう思う	87%																
②だいたいそう思う	10%																
③あまりそう思わない	2%																
④そう思わない	1%																
⑤わからない・無答	0%																
保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①そう思う</td><td>61%</td></tr><tr><td>②だいたいそう思う</td><td>31%</td></tr><tr><td>③あまりそう思わない</td><td>2%</td></tr><tr><td>④そう思わない</td><td>2%</td></tr><tr><td>⑤わからない・無答</td><td>3%</td></tr></table>	評価項目	割合	①そう思う	61%	②だいたいそう思う	31%	③あまりそう思わない	2%	④そう思わない	2%	⑤わからない・無答	3%	学校関係者評価委員会による評価	生徒の97パーセントはトラブルに対してきちんと指導してくれると答えているが、生徒と保護者の約3パーセントは、そう思っていない。先生の目の届かない所でいじめが発生している可能性もあると思われるので、親からの相談や子どもの動向などさらなる注意をお願いしたい。また、トラブルにあった生徒が納得いくような対応を引き続きお願いしたい。	
評価項目	割合																
①そう思う	61%																
②だいたいそう思う	31%																
③あまりそう思わない	2%																
④そう思わない	2%																
⑤わからない・無答	3%																
地域																	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

「①そう思う」と回答する教職員と児童の数値には差がある。9割以上の教職員、児童、保護者が肯定的な回答をしているが、学校の決まりを指導しきれていないと感じる教職員と、守れていないと自覚している児童がいることが課題である。

学校の決まりについて、教職員が同一步調で指導にあたることが大切である。また、児童の意識に違いがあるため、家庭とも連携しながら、学級指導や全体指導で粘り強く指導し続けていく。

学校の対応を見ると、いじめ等の対応が早い。一方で児童たちが自力解決し、ほめてあげると児童も成長する。トラブルに対して、保護者と学校の受け止め方が違うと解決に時間がかかる。引き続き家庭と連携しながら児童への指導をしていただきたい。

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>10%</td></tr><tr><td>②</td><td>55%</td></tr><tr><td>③</td><td>35%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	10%	②	55%	③	35%	④	0%	⑤	0%	評価結果についての分析・課題	児童の肯定的回答は昨年度より増加した。「すすんで」というのは難しいが、あいさつに対する意識は、日頃の指導や「あいさつ運動」等で高まっているといえる。また地域の方の取り組みにより、あいさつのよさを感じる機会が日頃よりあることも成果につながっていると考えられる。
	評価項目	割合															
	①	10%															
	②	55%															
③	35%																
④	0%																
⑤	0%																
生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>56%</td></tr><tr><td>②</td><td>31%</td></tr><tr><td>③</td><td>10%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>3%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	56%	②	31%	③	10%	④	0%	⑤	3%	課題解決への方策	学校・家庭・地域が手本となってあいさつを行うことを、機会があるごとをお願いしてきたので、引き続き行っていきたい。また「あいさつ運動」のように児童が主体となってあいさつすることのよさを感じられるような取組みを計画的に設定する。	
評価項目	割合																
①	56%																
②	31%																
③	10%																
④	0%																
⑤	3%																
保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>27%</td></tr><tr><td>②</td><td>46%</td></tr><tr><td>③</td><td>21%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>6%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	27%	②	46%	③	21%	④	0%	⑤	6%	学校関係者評価委員会による評価	学校の敷地内では、多くの児童が良くあいさつをしていると感じるが、立哨している方々に聞くと、積極的にあいさつする児童は少ないと感じている。子供たちが親、地域からあいさつの良さを感じ、積極的にあいさつができるようになって欲しい。	
評価項目	割合																
①	27%																
②	46%																
③	21%																
④	0%																
⑤	6%																
地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>90%</td></tr><tr><td>②</td><td>10%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	90%	②	10%	③	0%	④	0%	⑤	0%			
評価項目	割合																
①	90%																
②	10%																
③	0%																
④	0%																
⑤	0%																

児童の肯定的回答は昨年度より増加した。「すすんで」というのは難しいが、あいさつに対する意識は、日頃の指導や「あいさつ運動」等で高まっているといえる。また地域の方の取り組みにより、あいさつのよさを感じる機会が日頃よりあることも成果につながっていると考えられる。

学校・家庭・地域が手本となってあいさつを行うことを、機会があるごとをお願いしてきたので、引き続き行っていきたい。また「あいさつ運動」のように児童が主体となってあいさつすることのよさを感じられるような取組みを計画的に設定する。

学校の敷地内では、多くの児童が良くあいさつをしていると感じるが、立哨している方々に聞くと、積極的にあいさつする児童は少ないと感じている。子供たちが親、地域からあいさつの良さを感じ、積極的にあいさつができるようになって欲しい。

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安全 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

評価結果についての分析・課題

日頃の登下校指導や交通安全教室、防犯教室、避難訓練を通して指導を計画的に行ったことにより、9割以上の児童、保護者が肯定的回答をした。一方、安全対策に不安を感じている児童、保護者もいるため、対策をしていく必要がある。

課題解決への方策

警察や保護者、地域の方々のご理解とご協力を得ながら、学校の実情に沿った安全対策を見直していく必要がある。また、児童に対しては発達段階に応じた安全指導を繰り返し行っていく。

学校関係者評価委員会による評価

安全に安心して登校できていないと思っている児童がいるのが心配である。何に対して安全安心と思えないのか聞き取り、不安を取り除けるよう改善や指導をしていただきたい。

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題
	生徒			課題解決への方策
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

家庭・地域からは9割以上の肯定的回答を得られた。毎月発行している学校だよりが家庭・地域に根づいている成果といえる。また内容についても肯定的な感想を得られる機会があった。

引き続き、身近な話題を家庭や地域に発信していくために学校だよりを定期的に発行する。自治会の回覧板も活用し、学校の教育方針や情報を知っていただく。一方、学校だよりの内容が家庭に浸透しないこともあったため、必要に応じてメール配信やホームページのさらなる活用も必要である。

学区では、地域の子供は地域で育てる気持で接している。学校だよりの内容が充実しており、毎号楽しみにしている。保護者からも地域からも高い評価を得ているといえる。引き続き、機会を捉えて学校の情報を発信していただきたい。

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>35%</td></tr><tr><td>②</td><td>55%</td></tr><tr><td>③</td><td>5%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>5%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	35%	②	55%	③	5%	④	0%	⑤	5%	評価結果についての分析・課題	コロナ禍で教育活動に制限がある中、登校指導や、放課後の消毒ボランティア等で保護者・地域住民の協力をいただいた。社会の情勢と共に教育活動も変化する中で、学校応援団をはじめとする様々な方に協力をいただく必要がある。
	評価項目	割合															
	①	35%															
	②	55%															
③	5%																
④	0%																
⑤	5%																
生徒				課題解決への方策	コロナ禍の教育活動の様子や学校応援団の活躍を広く周知する。また、家庭・地域と連携しながら、学校応援団の募集を継続して行う。												
保護者		学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>51%</td></tr><tr><td>②</td><td>35%</td></tr><tr><td>③</td><td>3%</td></tr><tr><td>④</td><td>11%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	51%	②	35%	③	3%	④	11%	⑤	0%	学校関係者評価委員会による評価	新たな人材を活用するためにも、学校応援団の活躍を広く周知するとよい。
評価項目	割合																
①	51%																
②	35%																
③	3%																
④	11%																
⑤	0%																
地域		学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>40%</td></tr><tr><td>②</td><td>50%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>10%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	40%	②	50%	③	0%	④	0%	⑤	10%		
評価項目	割合																
①	40%																
②	50%																
③	0%																
④	0%																
⑤	10%																

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題
	生徒	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

清掃活動や掲示教育については、昨年度同様概ね良好な評価を得ている。「①そう思う」と回答した児童は昨年度よりも大幅に増加し、しっかりと清掃活動を行おうとする意識が向上したといえる。

清掃活動中に教職員が児童を褒めながら巡視し、児童に自信と学校に対する愛着を持たせるようにする。掲示教育に関しては、児童を大切にした作品掲示や、季節に配慮した掲示を引き続き行っていく。

学校施設の老朽化が目立つ。体育館の設備（カーテン等）、備品（演台）、ステージの床などの傷、汚れが目立つ。体育館の雨どいが腐食し、雨の日は体育館内に雨漏りが生じ水浸しになっている。児童の安全のためにも修繕を計画的に進めてほしい。また土・日の学校開放日に、植え込みに面する北側駐車場利用者が植え込みに侵入している。学校北側の路上駐車も対策が必要である。